

The Japanese Journal of PHYCOLOGY

CONTENTS

D. Wilson Freshwater and Donald F. Kapraun: Field, culture and cytological studies of <i>Porphyra carolinensis</i> COLL et COX (Bangiales, Rhodophyta) from North Carolina.....	251
Larry Golden and Kathleen M. Cole: Studies of the green alga <i>Kornmannia</i> (Kornmanniaceae fam. nov., Ulotrichales) in British Columbia.....	263
U Soe-Htun and Tadao Yoshida: Studies on morphological variations in <i>Sargassum cristaefolium</i> C. AGARDH (Phaeophyta, Fucales).....	275
R. E. Norris: <i>Tylotus</i> (Gigartinales, Rhodophyceae), a genus known in Australia and Japan, newly recorded in South Africa.....	282
Jiro Tanaka: The taxonomy of <i>Protectocarpus</i> species (BORGESEN) KORN-MANN (Myrionemataceae, Phaeophyceae).....	287
Toshihiko Kudo and Michio Masuda: A taxonomic study of <i>Polysiphonia japonica</i> HARVEY and <i>P. akkeshiensis</i> SEGI (Rhodophyta).....	293
Shigeo Kawaguchi and Tadao Yoshida: On the systematic position of the parasitic red alga <i>Kintokiocolax aggregatoceranthera</i> TANAKA et Y. NOZAWA.....	311
Isao Maruyama, Toshio Nakamura, Tsuneo Matsubayashi, Yotaro Ando and Tadahiko Maeda: Identification of the alga known as "marine <i>Chlorella</i> " as a member of the Eustigmatophyceae.....	319
Fusayuki Kanda: <i>Cladophora sauteri</i> (NEES) KÜTZING f. <i>kannoii</i> (OKIDA) SAKAI in lake Chimikeppu, Hokkaido..... (in Japanese)	326
◆ • ◆	
Note	
Shoji Kawashima: Drifting records of alien species of the Laminariales (2). <i>Alaria fistulosa</i> POSTELS et RUPRECHT..... (in Japanese)	332
◆ • ◆	
Book review..... (in Japanese)	318, 325
◆ • ◆	
Change of office and editor.....	281
Announcement..... (in Japanese)	334
Contents of Volume 34.....	i~iv

日本藻類学会

日本藻類学会は昭和27年に設立され、藻学に関心を持ち、本会の趣旨に賛同する個人及び団体の会員からなる。本会は定期刊行物「藻類」を年4回刊行し、会員に無料で頒布する。普通会員は本年度の年会費7,000円(学生は5,000円)を前納するものとする。団体会員の会費は12,000円、賛助会員の会費は1口20,000円とする。

入会、退会、会費の納入および住所変更等についての通信は 113 東京都文京区弥生 2-4-16「学会センタービル内」日本学会事務センター宛に、原稿の送付は 184 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学生物学教室内、日本藻類学会編集委員会宛に、また、庶務一般およびバックナンバー等については、305 茨城県新治郡桜村天王台 1-1-1 筑波大学生物科学系内、日本藻類学会宛にされたい。

The Japanese Society of Phycology

The Japanese Society of Phycology, founded in 1952, is open to all who are interested in any aspect of phycology. Either individuals or organizations may become members of the Society. The Japanese Journal of Phycology (SÔRUI) is published quarterly and distributed to members free of charge. The annual dues (1985) for overseas members are 8,500 Yen (send the remittance to the Business Center for Academic Societies Japan, 4-16, Yayoi 2-chome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113 Japan).

Manuscript for publication should be submitted directly to the Editor-in-chief, Prof. H. Kobayasi, Department of Biology, Tokyo Gakugei University, Nukuikita-machi 4-1-1, Koganei-shi, Tokyo, 184 Japan. Claims for missing issues should be sent to the Japanese Society of Phycology, c/o Institute of Biological Sciences, University of Tsukuba, Sakura-mura, Ibaraki-ken, 305 Japan.

昭和60, 61年度役員

会 長: 千原 光雄 (筑波大学)
庶務幹事: 原 慶明 (筑波大学)
" 井上 勲 (筑波大学)
会計幹事: 加藤 季夫 (筑波大学)
評 議 員:

有賀 祐勝 (東京水産大学)
榎本 幸人 (神戸大学)
堀 輝三 (筑波大学)
市村 輝宜 (東京大学)
巖佐 耕三 (大阪大学)
岩崎 英雄 (三重大学)
喜田和四郎 (三重大学)
小林 弘 (東京学芸大学)
右田 清治 (長崎大学)
野沢 裕治 (鹿児島大学)
大野 正夫 (高知大学)
谷口 和也 (東北海区水産研究所)
月館 潤一 (南西海区水産研究所)
山田 家正 (小樽商科大学)
山岸 高旺 (日本大学)
吉田 忠生 (北海道大学)

編集委員会:

委員長: 小林 弘 (東京学芸大学)
幹 事: 岡崎 恵視 (東京学芸大学)
実行委員: 有賀 祐勝 (東京水産大学)
" 堀 輝三 (筑波大学)
" 市村 輝宜 (東京大学)
委 員: 秋山 優 (鳥根大学)
" 巖佐 耕三 (大阪大学)
" 岩崎 英雄 (三重大学)
" 右田 清治 (長崎大学)
" 三浦 昭雄 (東京水産大学)
" 宮地 重遠 (東京大学)
" 西澤 一俊 (日本大学)
" 籾 熙 (北海道大学)
" 吉田 忠生 (北海道大学)

Officers for 1985-1986

President: Mitsuo CHIHARA (University of Tsukuba)
Secretary: Yoshiaki HARA (University of Tsukuba)
Isao INOUE (University of Tsukuba)
Treasurer: Suelo KATO (Kokugakuin University)

Members of Executive Council:

Yusho ARUGA (Tokyo University of Fisheries)
Sachito ENOMOTO (Kobe University)
Terumitsu HORI (University of Tsukuba)
Terunobu ICHIMURA (University of Tokyo)
Kozo IWASA (Osaka University)
Hideo IWASAKI (Mie University)
Washiro KIDA (Mie University)
Hiromu KOBAYASI (Tokyo Gakugei University)
Seiji MIGHTA (Nagasaki University)
Koji NOZAWA (Kagoshima University)
Masao OHNO (Kochi University)
Kazuya TANIGUCHI (Tohoku Reg. Fish. Res. Laboratory)
Jun-ichi TSUKIDATE (Nansei Reg. Fish. Res. Laboratory)
Iemasa YAMADA (Otaru Univ. of Commerce)
Takaaki YAMAGISHI (Nihon University)
Tadao YOSHIDA (Hokkaido University)

Editorial Board:

Hiromu KOBAYASI (Tokyo Gakugei Univ.), Editor-in-chief
Megumi OKAZAKI (Tokyo Gakugei Univ.), Secretary
Yusho ARUGA (Tokyo Univ. of Fisheries), Associate editor
Terumitsu HORI (University of Tsukuba), Associate editor
Terunobu ICHIMURA (University of Tokyo), Associate editor
Masaru AKIYAMA (Shimane University)
Kozo IWASA (Osaka University)
Hideo IWASAKI (Mie University)
Seiji MIGHTA (Nagasaki University)
Akio MIURA (Tokyo Univ. of Fisheries)
Shigetoh MIYACHI (University of Tokyo)
Kazutosi NISIZAWA (Nihon University)
Hiroshi YABU (Hokkaido University)
Tadao YOSHIDA (Hokkaido University)

日本藻類学会第11回大会のお知らせ

昭和62年度日本藻類学会第11回大会を下記の要領で開催します。藻類に関係のあるあらゆる分野の研究についての発表を広く歓迎します。所属機関長への出張要請等の文書などご入用の方は宛先を明記して大会準備委員会までご遠慮なくお申し込みください。

大会終了後には日本藻類学会主催で若狭湾における海藻採集会を企画しています(裏面参照)。奮ってご参加下さい。

- (1) 期 日 昭和62年 3月30日(月)～3月31日(火)
- (2) 会 場 京都大学楽友会館 京都市左京区吉田近衛町 TEL. 075-751-1100〔国鉄京都駅北口より市バスA2のりば206番, 京阪四条駅より市バス(南座向かいのりば), または 阪急四条河原町駅より市バス(北側のりば)201番または31番で, 近衛通り下車(京都駅から約30分, 四条から約20分, 料金は160円)〕なお会場付近に駐車場はありません。
- (3) 研究発表 発表形式は口頭発表と展示発表とします。口頭発表は1演題につき討論を含めて15分を予定しています。展示発表は原則として大会期間中とし, 演者はポスターの前で決められた時間に説明と質疑応答を行うこととなります。
- (4) 参加申し込み 講演の有無にかかわらず, 大会に参加を希望される方は, 同封の振替用紙にてお申し込み下さい。参加費は2,500円です。ただし学生は2,000円とします。懇親会(3月30日夜開催)に出席希望の方はさらに会費2,500円を添えてお送り下さい。
- (5) 講演申し込み 講演ご希望の方は, 氏名(共同の場合は演者に◎印), 所属, 題名, 要旨(A4 400字詰横書原稿用紙使用, 題名共に600字以内)を添えて大会準備委員会までお申し込み下さい。

本大会では発表形式が2通りになっています。ご希望の発表形式を、「口頭」あるいは「展示」と, 要旨1枚目の原稿用紙の右上欄外に朱記して下さい。記入の無い場合は大会本部で振り分けさせていただきます。

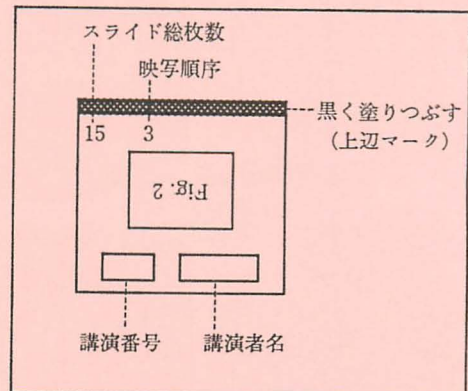
- (6) 発表形式 口頭発表の場合: 図・表はすべて35mmのスライドに限ります。スライド枠には, 右図のように講演者氏名, 講演番号(大会プログラムに記されているもの), スライド総枚数, 映写順序, 上辺マークを記入して下さい。同一の図, 表を繰り返して映写する場合は, それに見合う枚数をご用意下さい。

い。

展示発表の場合: 大会本部では1演題につき幅180cm, 高さ90cm(市販の模造紙2枚分の大きさ)の展示板を用意します。その他の展示用具は各自で準備して下さい。ポスターの貼付にはセロハンテープを使用して下さい(画鋏は使用できません)。デザインや展示方法は自由ですが, 上記の大きさに合わせたポスターを前もって作成し, ご持参下さい。なおポスター作成に当たっては以下の点にご留意下さい。i) 表題は高さ5cm以上の大きさの文字を使用する, ii) 説明文は高さ1cm以上の文字を使用し, 文章は必要最小限にとどめ, iii) 演者の氏名, 所属を明記し, 演者の顔写真(キャビネ判大)を貼付するのが望ましい。ポスターの貼付は30日午前8時30分から10時までにするようにして下さい。

- (7) 宿泊案内 共済関係の宿泊施設は以下の通りです。京都にはその他多くの宿泊施設がありますが, 春の行楽シーズンで大変混み合うことが予想されますのでお早めに各自でお申し込み下さい。

- * くに荘 上京区河原町荒神口上ル東入ル東桜町27-3 TEL. 075-222-0092 (連合共済) 52室120名, シングル ¥2,800から
- * 御車会館 上京区河原町通今出川下ル二筋目東入ル TEL. 075-211-5626 (文部省共済) 26室70名, シングル ¥3,630から
- * 京都堀川会館 上京区東堀川通下長者町下ル3-7 TEL. 075-432-6161 (公立学校共済) 93室253名, シングル ¥2,800から
- * 平安会館 上京区烏丸通上長者町上ル TEL. 075-432-6181 (地方職員共済) 90室188名,



シングル ¥4,300から

* 京大会館 左京区吉田河原町15-9 TEL. 075-751-8311 11室16名, シングル ¥4,000から

- (8) 大会参加申込み・講演要旨締め切り 昭和62年1月15日
- (9) 申込先・要旨送り先

〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学農学部熱帯農学専攻水産資源学講座内
日本藻類学会第11回春季大会準備委員会。郵便振替口座「京都」2-45885

TEL. 075-751-2111 (内線 6355, 6357)

— 日本藻類学会主催海藻採集会のお知らせ —

下記の要領により若狭湾での海藻採集会を開催します。参加者を募集します。

- (1)期日 昭和62年3月31日(火)午後5時(第11回大会終了後)～4月2日(木)正午
- (2)日程と内容(予定)
3月31日(火), 大会終了後集合, 京都祇園から京都バス(路線バス)にて舞鶴まで移動後水産実験所に宿泊。4月1日(水), 9時～12時, 若狭湾(高浜)での磯採集, 13時～17時, 室内観察・分類同定。4月2日(木), 9時～12時, 室内観察のつづき, 昼食後解散。
- (3)会場 京都大学農学部附属水産実験所 舞鶴市長浜
TEL. 0773-62-5512
- (4)参加費 宿泊費(2泊1,000円), 食費(4月1日朝食～4月2日昼食, 実費), およびその他(採集交通費, 資料作製費, 消耗品費など)で約4,500円かかる見込みです。納入期日など詳

しくは後日参加者にお知らせいたします。

(3月31日の京都～舞鶴間の移動バス代は団体割引とする予定ですが, 参加費とは別途に当日徴収いたします。)

(5)定員・参加資格など

定員は宿泊施設の都合から20名とします。参加者の資格などは全く問いませんが, 申し込み者が多数の場合には先着順としますのであらかじめご了承ください。

(6)申し込み ハガキにて下記に参加申し込みしてください。

〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学農学部熱帯農学専攻水産資源学講座
鱒坂 哲朗

TEL. 075-751-2111 (内線 6357)

(7)申し込み締め切り

申し込みは, 62年3月10日までとします。